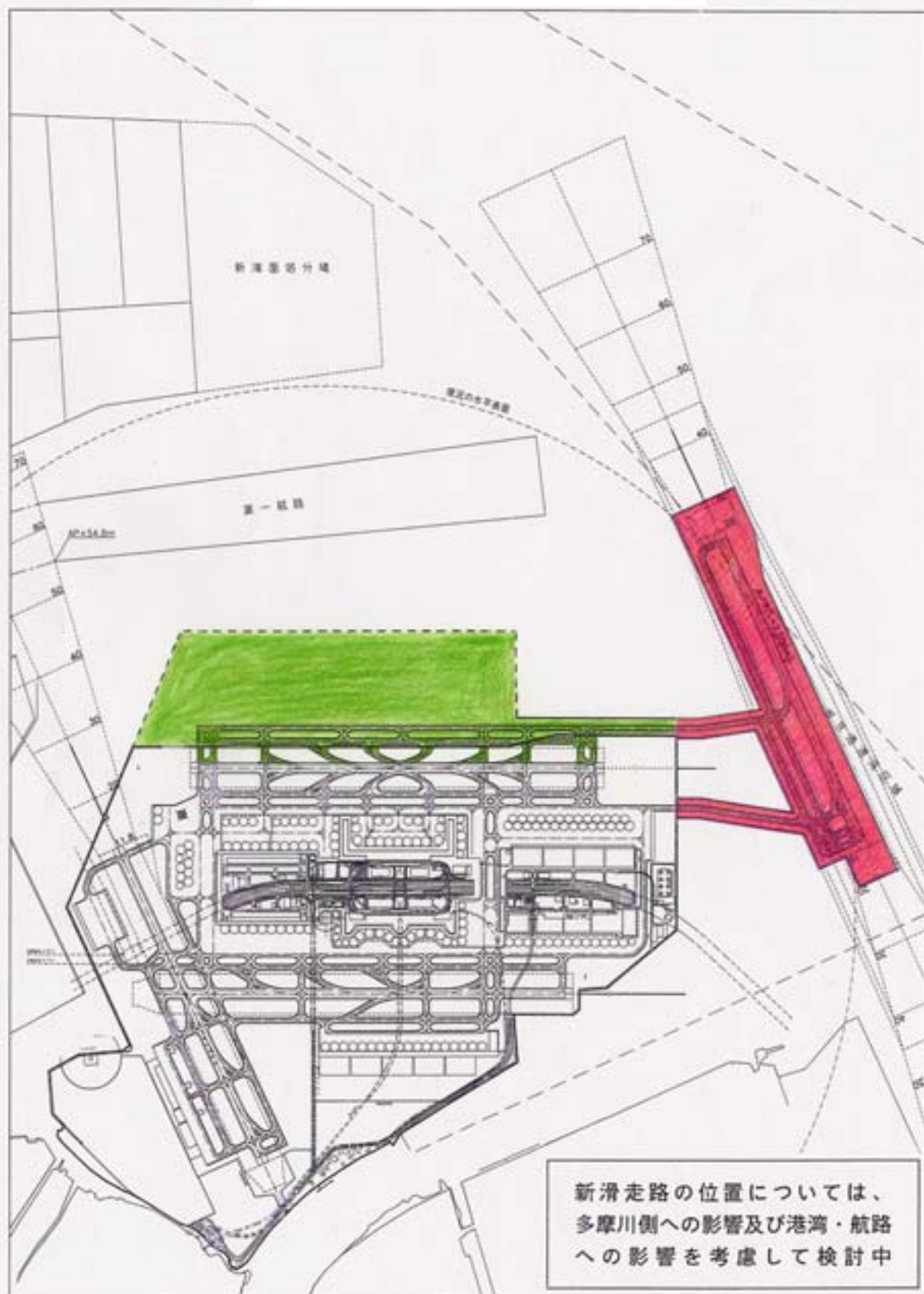


工費の違いについて

首都圏第3空港調査検討会における概略試算値 (平成13年7月)			羽田空港再拡張事業工法評価選定会議における各団体の提案 (平成14年4月)			
事業費		対象施設 〔別図1のとおり〕	対象施設 〔別図2のとおり〕	直接工事費		
最小	最大			栈橋工法	埋立/栈橋ハイブリッド工法	浮体工法
6,800億円	6,800億円	滑走路島	滑走路島	4,790億円	4,720億円	4,500億円
2,000億円	2,000億円	連絡誘導路(1レーン2箇所)	連絡誘導路(2レーン1箇所)	850億円	850億円	800億円
2,900億円 (115ha)	5,800億円 (230ha)	C滑走路沖 埋立地造成 (115～230ha)				
0 (なし)	1,600億円 (あり)	旅客ターミナルビル, アクセス施設等				
1,500億円	1,500億円	エプロン, 誘導路, 航空保安施設, 管理施設等				
1.3兆円	1.8兆円	合 計	滑走路島 + 連絡誘導路のみ	5,640億円	5,570億円	5,300億円

)直接工事費には、調査・設計費等が含まれていない。

別図 1



別図 2

